

☆☆☆61 現在完了(基本、継続)

四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。



1

英文には、必ず動詞が1つあります。
be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

現在の文で、主語が「I、you 以外の1人」
のときは、be 動詞は is。一般動詞には s
をつける。don't は doesn't になる。

日本語の「最初と最後」を最初に書く。
最後がない? 「です」を補ってみて。

現在完了は、主語+have または has+過去分詞~. で表す。ハブハズぶらす過去分詞♪って覚える。



出典「アオアシ」
小林有吾氏 小学館 より

中学では継続、経験、完了の3つの働きを学ぶ。※4つ目は、高校で学びます。

<ポイント> be 動詞 の過去分詞は been ビーン ♪ 過去形が ed ならば 過去分詞形も ed となる。

問題330 現在完了の文を完成させなさい。

(1) I live in Narita.

I _____ in Narita.

(2) I eat dinner.

I _____ dinner.

(3) He plays tennis.

He _____ tennis.

(4) He is happy. be 動詞の過去分詞は...

He _____ happy.

(5) Do you live in Narita?

Have _____ in Narita?

(6) He doesn't eat lunch.

He _____ lunch.

(5)(6)のように、現在完了の質問文・否定文は、
be 動詞と同じように作ればよい。つまり...

質問文は、have を主語の前 に出す。

否定文・質問文は、
be 動詞と同じ動きをします。

否定文...have の後ろに not。
質問文...have を主語の前に出す。

否定文は、have の後ろに not を置く。have not → haven't ハブント has not → hasn't ハズント

● 逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆☆☆61 現在完了(基本、継続)

四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。



たとえばあなたが、自動車のセールスマンだとします。いわゆる営業の人です。車について「知っている」ことは、当然ですよ。音が静かですよ」「加速がスムーズなんです」などです。

これらを「知ったうえで、じゃあどうするか」

ここからが社会人の戦いです。お金は勝ち取るものなので、戦いです。武器は、「契約を取れるノウハウ」です。

ノウハウとは、1軒1軒「ピンポン」と鳴らして、「じゃあ、1台買おうかしら♪来てくれてありがとうね。200万円ね。分かったわ。」と、契約を取れる方法のことです。ここを考えるのが社会人です。必ず来るこうした未来のことを、今から少しずつ、実感しておいてください。



出典「アオアシ」
小林有吾氏 小学館 より

英文には、必ず動詞が1つあります。
be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

現在の文で、主語が「I、you 以外の1人」のときは、be 動詞は is。一般動詞には s をつける。don't は doesn't になる。

継続用法は、「ずっと」が似合う文である。☆文末に、次を置くことが多い。

for ~ : ~間

since スインス : ~以来、~から

日本語の「最初と最後」を最初に書く。最後がない? 「です」を補ってみて。

「ぼくたち結婚して、5年目だね。」のように、幅を表す状態を相手に伝えたい時、現在完了 (have + 過去分詞) を使います。

問題332 「ずっと」は書かずに心で思って、文を完成させなさい。

- (1) I have lived in Tokyo for ten years. (2) He has been busy since yesterday.

私は東京に、

彼は昨日

- (3) It has snowed for two weeks.

2週間、

about (約、およそ)がある場合、for を省略することができます。

(例) about ten years
およそ 10 年間

問題333 現在完了の文を完成させなさい。

- (1) I live in Tokyo. (10年間住んでいます、に)

I _____ in Tokyo _____ ten years.

- (2) I know him. (子供のころから知っています、に)

I _____ him _____ I was a child.

- (3) My mother is busy. (今朝から忙しいです、に)

My mother _____ busy _____ this morning.

- (4) It is cold. (先週の金曜日からずっと寒いです、に)

It _____ cold _____ last Friday.

(2)のように、since の次は、「文」が続くことがあります。文とは、「主語+動詞～」です。

(例) 若いころから、
→私が若かったころから、
よって、
since I was young です。

話題が天気・時刻のとき、主語は、意味のない it になります。
(例) 昨日は、晴れでした。
It was sunny yesterday.

現在完了進行形は、動作(目で確認できる様子)を表す。

It has snowed for three days. と、

It has been snowing for three days. の違いは…「話し手の気持ちの違い」です。

「これからも雪が降り続くよ」と、未来を意識している時、現在完了進行形で表します。

ちなみに、単に事実を伝えたいときは、現在完了を使います。

●挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

☆☆☆61 現在完了(基本、継続)

四角語句を、線の上に練習するぞんすよ。



4

塾の選び方について。

世の中全てに共通することですが、何かを始めると、「何らかの不都合な問題」が出てきます。塾も同じです。それをメリットデメリットとして、以下にまとめました。

塾は大きく3つに分かれます。

1. 集団指導塾：特徴は、学校と同じ授業を、もう一回受けられる点です。メリットは、「**要点を全て**」見せてくれることです。また、授業日以外にも、自習室があれば利用でき、空いている先生に質問など、**フォローをしてもらえ**る点です。デメリットは、一斉授業であるため、**自分に必要ない事にも、時間が取られる可能性**があるところです。また個別のフォローは、先生の都合により、いつでもすぐに受けられません。

2. 1対2～の個別指導塾：特徴は、組む生徒数に関わらず、局面で1対1になれる点です。メリットは、利用次第で家庭教師のように、**授業時間の多くを、自分のものにできる**点です。デメリットはメリットの逆で、ペアを組む生徒が発揮する上記のメリット価値によって、自分が本来受け取れる**価値の量**が左右される点です。

3. 自立学習塾：特徴は、先生の管理が入る自習室です。メリットは、**授業がなく、組む生徒もいない**ため、**最初から最後まで、自分の勉強に集中**できる点と、先生も「**教えない**」と決めている分、**教材が優秀**である点です。デメリットは、**質問をしづらい**点です。また、じわじわと学力がつく指導形態であるため、**結果が出るまでとにかく時間がかかる**点です。

ちなみにこの英語プリントを作っている私の塾は、3番の自立学習塾です。

追伸：塾選びはまず、上記の「型」から選びます。そうしないと、自ら牛井屋さんに行って、「私、お寿司が食べたかったのに…」のようになってしまうたら、双方かわいそうですから…。

英文には、必ず動詞が1つあります。**be** 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。

現在の文で、主語が「I、you 以外の1人」のときは、**be** 動詞は **is**。一般動詞には **s** をつける。**don't** は **doesn't** になる。

問題334 文を完成させなさい。

(1) I have lived in Tokyo **for two years**.

(この文が答えとなる、質問文を作りなさい。) long lived you

「2年間」とは、期間です。

「期間を表す疑問詞」を使います。

_____ in Tokyo?

(2) 4日前から、雪が降っています。 four days ※**事実**だけを言及している。

It _____ snowed _____.

「知り合いです。」を、**friends** という単語を使って表現すると…

(3) 私たちは、10年前から知り合いです。 ten years

We have _____ friends _____.

知り合いです。
=お互いを知ってます。
=友達です。

🌸 **~ago** : ~前 **just now** : たった今 **When~?** : いつ~、は、

幅を表さない語句のため、現在完了の文では登場できません。

last は、**since last week** : (先週からずっと)のように、**since** があれば、現在完了の文になれます。

5年前から、について： 5年間、と言い替えて、**for five years** とする。
「5年前から」は、「5年間」と言い替えて、**for five years** とします。
「5年前から」の「前」を表す「**~ago** : ~前」が、現在完了では、使えないからです。

🌸 現在完了 [have (has) 過去分詞] と、現在完了進行形 [have (has) been ~ing] の違いについて。

(例) I **have studied** English for five years. (ぼくは5年間、英語を勉強しています。)

I **have been studying** English for five years. (同上)

動きを視覚化できる状態 (勉強する、雨が降る、走るなど) の継続：**2パターン**作れる。

have studied は、「**さっかオレ、今年で5年目か~**」 → 未来も続けるかは、言及していない。

have been studying は、「**勉強をし続けています。まだ途中です。**」 → 未来も続ける意識で話している。

(4) 亜紀は2時間、走り続けています。 🌸 (**まだまだ走るつもり**のようです。)

Aki _____ for two hours.

have studied か **have been studying** か。

() の数で判断します。
なぜなら日本語にすると、
単文では、
区別できないからです。

(5) 今朝からずっと、雪が降っています。 🌸 (**まだ降り続きそうだな**と思って一言。)

It _____ since this morning.

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのは、蹴る勇気があったから。



「学校の教科書を読む」ということは、私の中で、一番大切な勉強です。

唐獅子図屏風(からじしずびょうぶ)と、風神雷神図屏風(ふうじんらいじんずびょうぶ)。この区別、なかなか手強くありませんか？でも一方で、「かっこいい名前だな」とも思えませんか。

今回、教科書を読むことは、あなたの基礎学力を作ってくれる、という話をします。

教科書を読む時間の目安は、1日10分です。ポイントは、覚えようとしなさいこと。まるで、マンガ本や、小説を読むように読むことです。

覚えなくて良いんだ！という意識で読めることで、ストレスも少なく、ガンガンページが進むと思います。結果ページが進むため、安土桃山時代の唐獅子図屏風を目にした記憶が新鮮な状態で、江戸時代の風神雷神図屏風にたどり着きます(2~3日間のことだから)。

その時こう思えます。「お？2~3日前、同じような作品があったような…」と。そしてあなたはページを戻り、確認するかもしれませんよね。

このような何気ない作業が、記憶を強化してくれます。「教科書だけじゃ、覚えられないよ。それよりも、問題集をやったほうが効率的だし、覚えやすいのでは？」、こう思う人がいます。

たしかにそうです。教科書は、1回読むだけでは覚えられません。けれども教科書を読んだことで、基本情報が頭に残っているからこそ、そのあと取り組んだ問題集が効果的なのです。いくつも足を持っていると、椅子は安定するように、勉強も、たくさんの参考書や教科書を使って、多角的に頑張りたいと思います。その中でも教科書を、ぜひ中心に置いてみてください。

6 | 現在完了(基本、継続) [解答]

[解答] 現在完了(基本、継続) 6 |

問題330 (1)have lived (2)have eaten (3)has played (4)has been (5)you lived (6)hasn't eaten

問題331 (1)□ (2)✓ (3)✓ (4)✓ (5)□ (6)✓

問題332 (1)10年間(ずっと)住んでいます (2)から(ずっと)忙しいです
(3)(ずっと)雪が降っています ※「ずっと」と言わなくても可。

問題333 (1)have lived / for (2)have known / since (3)has been / since (4)has been / since

問題334 (1)How long have you lived (2)has / for four days (3)been / for ten years
(4)has been running (5)has been snowing

(2)は、10年前からを、10年間と考え、現在完了の文にする。
なぜなら、「～前」を表す ago は、過去形の文で使われる語句なので、
現在完了の文では使えないからです。

～ago アゴウ：～前

●ago は、点を表す語句である(幅がない表現で用いる)。

(例) I visited Kyoto two days ago.

(私は2日前、京都を訪れました。)←幅がない。

このように ago は、点を表す語句なので、
現在完了では、使うことができない。
よってピンチの時は、日本語を変換すれば良い。

(例) 2日前から、雪が降っている。

→2日間、雪が降っている。

last ラスト～：この前の～

●last は、点を表す語句である。

(例) I played tennis last week.

(私は先週、テニスをしました。)←幅がない。

ただし、(例) I have been busy since last Sunday.

(私は、この前の日曜日から、ずっと忙しいです。)

のように、since があると、幅を表すことができるため、
現在完了の文で使えます。

●信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。